2009年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生選考試験

学科試験 問題

(専修留学生)

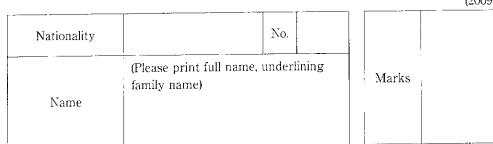
日 本 語

注意 ☆試験時間は60分。

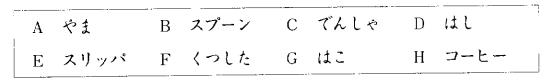
☆答えは全て解答用紙に記入すること。

(2009)

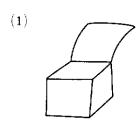
日本語

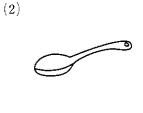


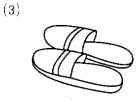
Ⅰ したのえのことばを _____ のなかからえらんで、解答用紙に記号でかきなさい。



(n.,)











 □ つぎのぶんの □ には、どんなことばがはいりますか。A ~ Dのなかからひと つえらんで、解答用紙に記号でかきなさい。

(れい) あのひとはだれです___。

- A h
- Bか
- C Y
- D 1

- (1) きのうえにとり____います。
 - A IC B N C &
- D Z
- (2) こうえん____おべんとうをたべました。
- A で B の C が
- D 12

	(3)	20	ことはせん	、せい_	ききまし	た。			
		A	か	В	9)	С	12	D	ŧ
	(4)	びょ	ういん	\	たくないです	۲ ₀			
		A	から	В	では	С	とは	D	へは
	(5)	70)しごとはキ	ったし_	やりまっ	r _o			
		A	が	В	E	С	を	D	۲
	(6)	あし	_t=t	あさって	ていくつもりて	です。			
		A	ŧ	В	は	С	や	D	か
	(7)	2	1はいつ	L A	しぶんですか。				
		A	が	В	で	С	0	D	lc .
	(8)	きれ	へいなおんな	ゞ く	きこえまっ	; 0			
		A	が	В	を	С	۲	D	や
	(9)	20	のテーブルに	まさくら	,のき	できて	います。		
		A	が	В	を	С	12	D	で
	(10)	ひん	ろいどうろ_		こくさんのくん	るまか	らはしっていま	さす。	
		A	で	В	を	С	12	D	や
Π	-		のかんじの。	よみかり	こをれいのよう	うに解	¥答用紙にひら	っがな	よでかきなさい。
雨 (れい に中 (7)	が、	いり (c 交の)	売いていたラ () とき仲がよれ (8)	<u>た月</u> のま かった <u>友</u>	ある日、近くの (3) (4) 定人に偶然、)	のディ 出会い	ペートへ <u>買物</u> に いました。	こでか	いけたら、 <u>五年</u> ぶり (6)

IV	() の中に	入るもっ	っともてき	とうなこ	ことばを下の	n	の中から	えらん
	で、	70)記号を解	答用紙に	こかきなさ	v 1 ₀				
日日	1									
問		→ .u	L	m () 1	したべま	+			
							ませんか。	1. /		
							いけられませ			
									いりません。	
			_				れませんて			
	(6)	÷ ;	こからせん	もんがっ	っこうまで	() いちじ	ごかんな	かかります。	
		A	ように	В	どうか	C	だけ	D	ために	
		Ε	ばかり	F	でも	G	しかし	Н	しか	
		I	ほうが	J	ほかに	K	やく			
語]2		_							
		きょ	ょう() -	うれしい日	は今まで	ごありません	にでした		
	(2)	()	なれてい	ないので	、ごめい	いわくをおか	いけする	るかもしれま	せん。
	(3)	()	あっても	し、かなら	ず行くっ	つもりです。			
	(4)	— В	寺はもうだ	らかと は	らもったの	ですが、	しめきりに	: () 間に	合いま
		L†								
	(5)) バブ	スが来るの	で、とっ	てもべんりて	です。		
							おくれて学		来ます。	
		A	なにが	В	なにしろ	C	こそ	D	IξĽ	
		Е	たびたひ	F F	めったに	G	こんなに	Н	めったに	
		I	なんとか	` J	たびに	K	おきに			:

V	次の	文の)に入る	もっ	ともてきとう	なこ	とばを、下の	A ~	-Dの中から一つえ
	らんで、解答用紙に記号で書きなさい。								
	(1)	<i></i>)あたりはしず	か_	、駅にも	近い	です。		
		A	l	В	くて	С	15	D	だし
	(2)	パス	、ポートがあっ	ても	、ビザが	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	の国へは行け	ませ	た。
		A	あれば	В	なければ	С	なくても	D	あったら
	(3)	使	、終わったら、	ŧΣ	このところに_		_くださいね。		
		A	もどって	В	もどして	С	ならんで	D	入って
	(4)	あの)人にも	のは	は、必ず返して	もら	います。		
		A	かりた	В	かした	С	もらった	D	あげた
	(5)	足が	バ悪いので、_		_ままで失礼し	ます	•		
		A	すわる	В	すわって	С	すわった	D	すわり
	(6)	今と	となっては	t	ようがありま	せん	· c		
		A	なんと	В	なんとか	С	なんとも	D	なんとでも
	(7)	子住	典というものは	t	突き放した	:13 ?	がいいことも	あり	しますよ。
		A	時には	В	時から	С	時めく	D	時では
	(8)	本物	勿の作品を皆さ	きょに	ニお目に	_まし	ょう。		
		A	かけ	В	かかり	С	入れ	D	入り
	(9)	デサ	ゲインの新しさ	1=_	色のよさ	が人	、気を呼んでい	っる。	
		A	加えて	В	こたえて	С	先立って	D	したがって
	(10)	あま	あ、それで今朝	月はい	っつもよりずい	135.A	~早かった		ですね。
		A	こと	В	ŧの	С	はず	D	bit

(11)	この仕事は私一人	、のカではで	ごきるものではあり)ません。
	A 大変	в ктв	C ぜひ	D どんなに
(12)	今日は目が	_ほど忙しかったて	゛す。	
	A 出る	B 回る	C 踊る	D 走る
(13)	残念ながら、今に	はまだ将来の	が立たないのです	- 0
	A 希望	B 期待	C 見通し	D 約束
(14)	緊張でがか	ぶくがくしています	•	
	A Π	B 手	C 頭	D ひざ

VI つぎの文を読んで、問いの () の中に入ることばを下の [] の中から えらんで、解答用紙に記号で書きなさい。

みなさん、こんにちは。私は木下こうすけといいます。

私は子供のころから絵をかくのが大好きでした。黒板の字を写すふりをしてノートに鉛筆で絵ばかりかいていたので、先生によく注意されました。「先生の話を聞きなさい」と。そのころかいていたのは窓の外の風景であったり、先生や友達の顔だったりしました。中学校のころまでは画家になりたいと思っていたのです。画家になるのはむずかしいと分かっていたので、なれなければ趣味として絵を続けていこうと思っていました。

高校生になってから字を書くことにも興味を持つようになりました。筆やペンで書 く字、手やブラシで書く字など、いろいろな書き方を試して遊んでいました。漢字や かなだけでなく、ローマ字も書いたりしていました。

私は週に一度の書道の授業を楽しみにしていました。ある日、練習をたくさんして すみがなくなったので、黒の絵の具を溶かして字を書いてみたのです。それから、別 の色も入れてみました。青、緑、黄色と色を変えていきました。すると同じ字とは思 えないほど字の表情が変わり、生き生きしているように感じたのです。色を重ねたり、 字の形を変えて試していたとき、書道の先生に見つかってしまいました。私はひどく 怒られることを覚悟しました。なぜなら、書道はすみで書くもので、絵の具を使って 書いてはいけないからです。

私が書いた字を見て言われた先生のことばは意外でした。

「ほう、なかなかおもしろい。君は書道よりもデザインの才能があるんじゃないか。」 そのことをきっかけに私は専門学校でしっかりとデザインの勉強をしようと思うよ うになったのです。

私が今、グラフィックデザイナーでいられるのもあのときの先生の一言があったからだと思っています。この仕事は一生続けていきたいと思います。

問

- (1) 木下さんは今 () としてデザインを作成しています。
- (2) 子供のころ木下さんは授業に集中して()。
- (3) すみの代わりに使ったのは()でした。
- (4) デザインを勉強するきっかけになったのは () のことばです。
- (5) そのことばは木下さんの () 反応でした。
- (6) 木下さんが本格的にデザインの勉強を始めたのは () に入ってからです。

A	中学校の先生	В	高校の先生	С	中学校
D	高校	E	専門学校	F	学生
G	趣味	Н	職業	I	予想通りの
J	予想に反した	K	いました	L	いませんでした
М	鉛筆	N	絵の具		